



須坂市立須坂小・須坂支援学校 校長室だより

令和6年6月4日

第3号



# みすどかる

住所:須坂市須坂 780

印刷:須坂小学校職員室

発行責任者:小松賢吾(校長)

## 運動会へのご声援、ありがとうございました



6月1日(土)に行われた運動会には、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご参加いただきありがとうございました。運動会が春開催となったことで、学校で計測している暑さ指数も、危険な状況になることなく練習を重ね、無事当日を迎えることができました。開催時期だけでなく、今年度から様々な変化のあった運動会でしたが、準備や片付けも含め、皆様のご協力が無事終えられたことに心より感謝申し上げます。



2週間前には停電のため2日間の休校(自宅学習)となったり、この1週間も雨で校庭が使えなかったりしました。思うように練習ができない中でしたが、タブレットに入った動画を見ながら家で練習してお家の方にアドバイスをいただいたり、速く走る練習を一緒にしていただいたり、さまざまな形でご家庭でも一緒に運動会の準備をしていただいたことも、子どもたちにとっては大きな支えとなりました。おかげで子どもたちは自信をもって本番に臨み、本年度のスローガン「最後まであきらめず、自分のベストをつくそう!」に迫る姿が随所に見られました。今回の運動会も見ていて本当に嬉しい姿ばかりでした。素敵な子どもたちです!

運動会なのに、今回はBGMの流れない競技や場面がいくつかありました。これは、大きな音の苦手なお友だちがいると分かった子どもたちが、その子も一緒に参加するにはどうすれば良いかを考えた時、自分たちで「それなら曲をなくせばいいのではないか」と提案してくれたからでした。おかげでみんなが参加することができました。柔軟で優しい子どもたちです。また、5・6年のフラッグも自分たちで考えた振り付けがあったり、様々な競技で子どもたちが自分たちなりの工夫や参加の仕方をしていたりする姿がたくさんあり、両校のどのお子さんにとっても大きな学びが実感出来る運動会となりました。応援団も朝からしっかり練習し、誇りをもって取り組んでくれていました。閉会式が始まるときに6年生が、「あー、最後の運動会が終わっちゃう」と言っていましたが、どの学年もその学年としてできる運動会は最初で最後です。ベストを尽くし、悔いのない運動会になったのは、この先の生活に大きな自信になるのだと思います。子どもたちは本当によくがんばりました。お力添えをいただきありがとうございました!

## たてわり班活動

今年の両校の重点活動は、交流教育と授業改善です。交流に関しては、小学校が1,6年以外は単級(学年1クラス)で、人間関係が広がりにくいこと、支援学級と小学校の子どもたちの相互理解を深めるため、支援学校と小学校の全校児童生徒でたてわり班での活動を始めました。まずは須坂小の児童で活動を始めました。軌道に乗ってきたところで支援学校の児童生徒も合流します。学年も含め多様な子どもたちが集まります。お互いの役割を意識しつつ、お互いに自己主張したり配慮し合ったりしながら、どう折り合いをつけ、どんな活動をしていくのか楽しみです。ここにも一人一人の大きな成長があることに期待しています。



## 地域の支えをいただいて

小学校1年生昇降口、支援学校小学部昇降口を入れて正面の壁に「やまぎしギャラリー」というコーナーがあります。「やまぎし」というのは山岸榮さんといって、以前ソレイユ和紙絵研究所を主宰されていた方です。このやまぎしギャラリーは、山岸さんが令和3年に来校され、「花はそれぞれ美しく咲いています。どの花がいいとかすばらしいとかではなく、どの花もみんなすばらしい花。人も同じです。みんな違って、それぞれがすばらしい。みなさんも、それぞれ自分の花を精一杯咲かせてくださいね。」というメッセージと共にたくさんの和紙絵をくださったことを記念してつくられました。そして、今回も、子どもたちに大切にしてほしいこととして、「ありがとう」「いのち」「ともだち」「せんせい」の言葉をしたためた色紙に、「皆に愛されていることを知ってほしい」という願いを込めて、支援学校の児童生徒分寄贈していただき各家庭にお配りしました。有り難いことです。



本年度も、小学校では総合的な学習の時間として、中央地域づくり推進委員の皆さんとの共同事業や、地域おこし協力隊の方との共同事業など、地域の皆さんにご協力いただく学習がたくさん計画されています。また支援学校の児童生徒は「ぶれジョブ」の活動においても地域のさまざまな事業所にご協力をいただいたり、本年度は地域に出て行く活動を今まで以上に行えるよう計画したりしています。

さまざまな活動のたびに地域の支えの大きさを感ずると共に、地域を知り、地域で学ぶことの大切さを再認識しております。「地域と共にある学校」として、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。